

★ステップ3★ 考える（まとめる） ～事後レポート～

ここからが、成果・評価につながる大事な仕上げです

- 自分が何に心を動かされたか思い出す（何かあるはず！）
- 良い点・悪い点は何か考え、悪い点はどうすれば改善されるか考える。
- 発表、レポートにする時は、関連性を意識して（原因→結果比較、対照など）順番を組み立てる。

わたしが調べたことを要約すると

ということが分かった。ここからわたしが感じとって考えたのは、

ということだ。

「要約」は大事なところを短く「まとめた」ものですので、書き写すのはルール違反です。引用する時は、メモしておいた出典を必ず書いてください。
※次により良いものが出るよう、繰り返し成果を振り返ることが「探求」につながります。

「事前」「当日」「事後」の3ステップで自然にまとまる

校外学習お助けシート

年 組 番 氏名 _____



★はじめに

～2つの本の使い方～

1. 読んで楽しむ本…最初から順番にすべて読み進めます。
2. 調べるための本…必要な箇所を探して参考にします。

～3つのステップ～

1. 謎を見つける…見学する（これから調べる）場所やテーマをはっきりさせましょう。
2. 深く調べる…場所やテーマに関する、小さくて具体的なテーマに絞って観察したり、資料を探しましょう。
3. 考える（まとめる）…見て調べて、ここが「良かった」「悪かった」「感動した」「こうすればもっと良くなる」などを人に伝える形にしてみましょう。

★ステップ1★ 謎を見つける ～事前準備～

せっかくなので……

あなたの見学コースに名前をつけましょう

謎の見つけ方

- 興味がわくものを探す。
- テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどからヒントを得る。
- 人から聞いた話や、学校で教わったことを参考にする。

今回は { .
.
.
. } を見学しよう

★ステップ2★ 深く調べる ～事前から当日へ～

調べるコツ

- 図鑑、百科事典、辞典などからキーワードを得る。
- キーワードについて詳しく載っている本を読む。

※使った本やインターネットサイトは記録を取っておきましょう。
 後でまとめる時に便利です。発表する時に「〇〇を使った」と
 出典を書いておくとレポートや発言の信頼度が高くなります。

※発行年は本の奥付（裏表紙をめくった辺り）にあります。

分類	書名	作者	出版社	発行年

インターネットの記録

製作者	URL	参照日

いよいよ当日。実際に見て気が付いた新しい発見も加えましょう。

見学場所	調べたポイント	見た！	当日発見したこと
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	
		<input type="checkbox"/>	

その他メモ：